

2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月8日

上場会社名 株式会社 エコミック
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

四半期報告書提出予定日 2018年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	211	6.0	1		1		3	
2018年3月期第1四半期	199	11.8	9		8		5	

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1百万円 (272.8%) 2018年3月期第1四半期 0百万円 (97.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	2.37	2.35
2018年3月期第1四半期	3.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	637	557	87.0	346.06
2018年3月期	630	568	89.8	353.00

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 555百万円 2018年3月期 566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	369	0.6	39		39		25		16.17
通期	1,009	4.0	81	20.8	81	11.4	57	2.8	35.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	1,603,800 株	2018年3月期	1,603,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	株	2018年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	1,603,800 株	2018年3月期1Q	1,602,000 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調を続けています。今後も雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くと見られます。しかし一方で、少子高齢化・人口減少が進む中で、人材不足を克服し持続的な経済成長につなげるためには、働き方改革に伴う多様な人材の労働参加を図ることや、AI及びRPA等の導入などにより生産性の向上を図ることが大きな課題とされています。

当業界におきましては、この様な緩やかな景気回復基調、人材不足及び働き方改革等を背景に、引き続き企業の効率化、省力化への動向が継続しており、今後、事業再構築の手段としてアウトソーシングのニーズも同様に高まっていくと考えております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は211,924千円(前年同四半期比6.0%増)、営業損失は1,079千円(前年同四半期は営業損失9,329千円)、経常利益は1,569千円(前年同四半期は経常損失8,311千円)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,796千円(前年同四半期は当期純損失5,177千円)となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の経営成績は次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間については、前連結会計年度に引き続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。売上高については前年同四半期に比べ、新規顧客の受注が順調に進んだことが寄与し、売上高は211,924千円(前年同四半期比6.0%増)となりました。利益につきましては、作業の標準化や子会社への業務委託等により効率化を進めた結果、前年同四半期に比べ売上総利益率は8.0ポイント上昇し、営業損失1,079千円(前年同四半期は営業損失9,329千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は495,231千円となり、前連結会計年度末に比べ10,470千円増加いたしました。これは主に住民税処理業務に係る売上高の計上等により売掛金が11,668千円増加したことによるものであります。固定資産は142,584千円となり、前連結会計年度末に比べ3,370千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が2,387千円増加した一方、ソフトウェアが減価償却により6,457千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、637,815千円となり、前連結会計年度末に比べ7,100千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は79,205千円となり、前連結会計年度末に比べ19,255千円増加いたしました。これは主に買掛金9,882千円及び未払金6,921千円が増加したことによるものであります。固定負債は1,251千円となり、前連結会計年度末に比べ1,029千円減少いたしました。

この結果、負債合計は80,456千円となり、前連結会計年度末に比べ18,226千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は557,359千円となり、前連結会計年度末に比べ11,125千円減少いたしました。これは主に四半期純利益を計上した一方、利益剰余金の配当12,830千円があったこと等により利益剰余金が9,033千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.0%(前連結会計年度末は89.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日に発表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,232	347,538
売掛金	122,216	133,885
為替予約	1,280	—
その他	15,031	13,807
流動資産合計	484,760	495,231
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	17,750	17,059
その他(純額)	8,867	9,623
有形固定資産合計	26,617	26,682
無形固定資産		
ソフトウェア	81,500	75,043
無形固定資産合計	81,500	75,043
投資その他の資産		
投資有価証券	10,616	9,782
繰延税金資産	—	2,387
敷金及び保証金	27,209	28,677
その他	10	10
投資その他の資産合計	37,836	40,857
固定資産合計	145,954	142,584
資産合計	630,715	637,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,459	22,342
為替予約	—	852
未払金	5,121	12,043
未払法人税等	9,317	7,668
その他	33,051	36,299
流動負債合計	59,949	79,205
固定負債		
繰延税金負債	2,281	1,251
固定負債合計	2,281	1,251
負債合計	62,230	80,456

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	247,710	247,710
資本剰余金	82,686	82,686
利益剰余金	230,350	221,317
株主資本合計	560,748	551,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,614	4,992
為替換算調整勘定	△222	△1,693
その他の包括利益累計額合計	5,391	3,299
新株予約権	2,345	2,345
非支配株主持分	—	—
純資産合計	568,484	557,359
負債純資産合計	630,715	637,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	199,947	211,924
売上原価	155,992	148,320
売上総利益	43,954	63,604
販売費及び一般管理費	53,284	64,683
営業損失(△)	△9,329	△1,079
営業外収益		
受取利息	22	41
助成金収入	83	2,833
その他	911	311
営業外収益合計	1,017	3,186
営業外費用		
為替差損	—	537
営業外費用合計	—	537
経常利益又は経常損失(△)	△8,311	1,569
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,311	1,569
法人税等	△3,134	△2,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,177	3,796
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,177	3,796

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,177	3,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,895	△621
為替換算調整勘定	739	△1,471
その他の包括利益合計	5,634	△2,092
四半期包括利益	457	1,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457	1,704
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。